

王者の貫禄を見せつけ、王座防衛！
8Rの“井上劇場”に会場はどよめきと拍手の渦
初のホワイトパーティ開催！井上選手登場で会場には日の丸が完成
PXB WORLD SPIRITS
井上尚弥選手 WBAスーパー、IBF世界バンタム級タイトルマッチ

大橋ボクシングジムは、2021年12月14日(火)両国国技館にて「PXB WORLD SPIRITS (ピーエックスビー ワールドスピリッツ)」を開催しました。

メインカードとなった、WBAスーパー、IBF世界バンタム級王者 井上尚弥選手 対 IBF世界バンタム級5位 アラン・ディパエン選手による「WBAスーパー、IBF世界バンタム級タイトルマッチ」に、世界王者井上尚弥選手が登場。終始攻め続けた井上選手は、8RTKO (2分34秒) で王座防衛に成功。世界王者の貫禄を世界に見せつけました。



タフな試合も攻め続けて勝ち切る王座の貫禄！井上選手のパンチに会場はどよめき！
試合後に今後への展望も語る！

大橋ボクシングジムは、「PXB WORLD SPIRITS」において、WBAスーパー、IBF世界バンタム級王者 井上尚弥選手 対 IBF世界バンタム級5位 アラン・ディパエン選手による「WBAスーパー、IBF世界バンタム級タイトルマッチ」をメインカードとした7試合を行いました。

前日に順調な仕上がりを見せた井上選手は、挑戦者ディパエン選手が攻撃する隙を与えず、終始攻め続ける試合展開に。8Rで渾身の左ストレートで初ダウンを奪うと、試合は続行されるもその数秒後にレフェリーのストップがかかり、井上選手の勝利が確定、8RTKOで王座防衛を果たしました。試合中、井上選手のパンチが繰り出されるたびに会場ではどよめきが上がり、ラウンドを重ねるごとに会場のボルテージも上昇。王座防衛を決めると、王座の貫禄と王座防衛に対し、会場では割れんばかりの拍手が鳴り響きました。試合後に行われた記者会見で試合の感想を聞かれた井上選手は、「本当にタフな相手でしたし、根性も感じました。」とディパエン選手を称賛、2年ぶりの国内での試合については、「すごく楽しむことができました。この試合をするために多くの人が関わってくれて実現した。感謝しています。」と喜びと感謝の想いを明らかにしました。

一夜明けて実施された記者会見では、井上選手は、「ディフェンシブで、かつタフな相手に、しっかりと勝ち切れてよかった。やはり左のリードパンチにはこだわっていたし、一番ダメージを与えることができたパンチだと実感しています。」と前日の試合を振り返った上で、「もっと視野を広げて戦うことができたとも思う。今後自分の持つ引き出しを、より多く見せていきたい。」と語りました。また、今後については「ドネア選手との試合が最有力なのでそこに向けて照準を合わせたい。場合によってはスーパーバンタム級へ階級を上げることも視野にいれています。」とコメント。最後にファンに向けて「今後も期待してほしい。自分の試合を観てくれる皆さんがなにかを感じてくれると嬉しい。」と、世界王者らしいコメントで締めくくりました。

白い会場にモンスターが登場！日本ボクシング界“初”の「ホワイトパーティ」演出を開催。井上選手の登場で会場に日の丸が完成！

当日、会場では約7000人の観客が井上選手の2年ぶりの国内試合を見守りました。本大会では、井上選手のファンや観客に対する熱い想いを汲み、これまでのボクシング興行には類を見ない新しいエンターテインメントを実現すべく、日本ボクシング界では初となる「ホワイトパーティ」演出を実施。事前に試合に来場する観客に白のドレスコードを設けたところ、当日は、多くの観客が白を身に着けて来場。井上選手が登場する会場は白一色に染まり、ホワイトパーティが実現しました。赤いガウン・パンツ、そして白をベースに赤が入った新しいグローブを身につけた井上選手が登場すると、会場には日の丸が完成。記者会見で「ホワイトパーティ」演出に関して聞かれた井上選手は「会場に出ると白い景色が目に入りました。新たな興行の形が実現できてうれしかったです。皆さんご協力ありがとうございました。」と笑顔でコメントしました。



アラン・ディパエン選手、井上選手を絶賛！「我慢できなかった」と一言 試合後「私のアイドル」と井上選手を称える

敗れたアラン・ディパエン選手も、試合後の取材に応じました。井上選手に称賛されたタフさに関して聞かれると、「タイ人のために、倒れたくなかった。」と愛国心も語った上で、「最後は我慢できなかった。」と井上選手の強さに感服。「パンチのスピードもあるし、テクニクもある。」と王者を称えました。

また、試合運びに関して聞かれると「もっと前に出たかったが、パンチをもらった瞬間に、前に行ったらダメだと思った。ディフェンシブになってしまった。」と当初構想していたスピード勝負を封印せざるを得なかったその経緯を振り返りました。

その上で、「井上選手は僕のアイドルです。世界のバンタム級のベルトはすべて井上選手にとってほしい。応援しています。」と井上選手へのリスペクトを表しました。



視聴はペイ・パー・ビュー方式で配信注目の試合に日本中が釘付け！

本大会は、ペイ・パー・ビュー方式で、ひかりTV・ABEMAによる生配信を行いました。

試合以前から、日本ボクシング界では初の「ペイ・パー・ビュー」方式での開催に期待を示していた井上選手は試合直後リング上から、「応援ありがとうございました。今後の試合にも期待してください。」と多くの視聴者への感謝のメッセージを送りました。一夜明け、ペイ・パー・ビュー方式での開催に関して質問された大橋会長は「手ごたえは感じています。」と話しました。

戦績

その他の試合結果は以下の通りです。

第1試合 テール上滝(上滝)3戦2勝2KO1敗 VS 高井開輝(T&T)1戦1勝1KO
勝者：高井開輝（判定 2-0）

第2試合 梶谷有樹(八王子中屋)5戦2勝2KO3敗 VS 永里翔(レパード玉熊)4戦2勝2KO2敗
勝者：梶谷有樹（判定 3-0）

第3試合 石井渡士也(REBOOT) 5戦4勝3KO1敗 VS 藤岡拓弥（VADY） 21戦10勝1KO10敗1分
勝者：石井渡士也（判定 3-0）

第4試合 58.5キロ契約 松本圭佑(大橋)3戦3勝3KO VS 荒木貴裕(JB)22戦12勝4KO10敗
勝者：松本圭佑（5ラウンド KO）

第5試合 55キロ契約 武居由樹(大橋)2戦2勝2KO VS 今村和寛(本田F)3戦2勝1KO1分
勝者：武居由樹（1ラウンド KO）

第6試合 ウィルフレッド・メンデス(プエルトリコ)17戦16勝6KO1敗 VS 谷口将隆(ワタナベ)17戦14勝9KO3敗
勝者：谷口将隆（11ラウンド TKO）

選手紹介

井上 尚弥 -NAOYA INOUE-

大橋ボクシングジム所属
通算成績：21戦21勝（18KO）無敗

現WBA世界バンタム級スーパーチャンピオン
現IBF世界バンタム級チャンピオン
第17代WBO世界スーパーフライ級チャンピオン
第33代WBC世界ライトフライ級チャンピオン
第33代東洋太平洋ライトフライ級チャンピオン
第36代日本ライトフライ級チャンピオン

1993年4月10日生まれ
神奈川県座間市出身
2012年12月2日デビュー



「PXB WORLD SPIRITS」とは

「PXB（ピーエックスビー）」は、井上尚弥選手が所属する、大橋ボクシングジムが主催するボクシングイベント「フェニックスバトル」から発展した、新たなボクシングブランドとして展開するため、アルファベット3文字を抽出しました。また井上尚弥選手が考える、ボクシングを象徴する言葉「スピリッツ」を組み合わせ、「PXB WORLD SPIRITS」として、井上尚弥選手自ら命名されました。

3つのキーワードの実現

「PXB WORLD SPIRITS」に、下記の3つのキーワードを掲げました。

- ①「アスリートファースト」
- ②「チャレンジ」
- ③「ゲームチェンジ」

PXB WORLD SPIRITS 新ロゴ



井上尚弥選手悲願の世界4団体統一をイメージし、各団体のベルトカラー（赤、水色、緑、黒）をモチーフにした新ロゴを展開しています。

12月14日開催「PXB WORLD SPIRITS」大会・配信概要

<大会概要>

- ◆大会名称 : PXB WORLD SPIRITS (ピーエックスビー ワールド スピリッツ)
- ◆大会主催 : 大橋ボクシングジム
- ◆会場 : 両国国技館

<ペイ・パー・ビュー概要>

「ひかりTV」「ABEMA」限定でのペイ・パー・ビュー（PPV）の生配信を実施。

PPVは12月31日（金）23時59分まで購入が可能、購入者は2022年1月4日まで見逃しでご視聴いただけます。

- ◆ひかりTV PPV販売価格 : 3,960円（税込）
- ◆ABEMA PPV販売価格 : 【通常価格】ABEMAコイン3,300コイン（3,960円相当）
【ABEMAプレミアム会員価格】ABEMAコイン2,630コイン（3,156円相当）
※アプリにて購入する場合は、追加でABEMAコイン1,420コイン（1,704円相当）の手数料が生じます。

上記はいずれもGoToイベントキャンペーン対象

- ◆公式サイト : <https://www.phoenixbattle.jp/>